

広
報

あづ み の

Azumino City

Public Relations
No.94



安曇野市

12

2009.12.17

一般廃棄物最終処分場の建設検討…	2
本庁舎建設検討市民説明会…	2
新年祝賀会のお知らせ…	20
都市計画マスタープラン策定に向け…	26

特 集

「場」を求めて

人と人が交わる地域の「場」がはぐくむものは何でしょうか。写真は、放課後子ども集団あそばせ隊。仲間と自由な時間を過ごしています。(関連記事 14 ページ)



■最終処分場検討委員会「豊科候補地」を選定

穂高広域施設組合最終処分場検討委員会（委員長・福島和夫、信州大学理学部教授）は11月25日、一般廃棄物最終処分場の建設にかかわる報告書を、組合の管理者である宮澤市長に手渡ししました。

この検討委員会は平成20年に設置され、安曇野市など6市町村から排出される家庭ごみの焼却

却灰などを処分する最終処分場候補地の検討を行ってきました。今回の報告では、「豊科田沢の採土場」を最終候補地として絞り込み、選定に至った経緯や選定方法などをまとめました。

また、説明会などで意見が多かった「本庁舎との併設」については、適当でないとする考えも示しています。

宮澤市長は、「地元で計画内容を説明する機会を与えていただくよう誠意を尽くしたい」と述べました。

報告書の全文は、穂高広域施設組合ホームページ（<http://www.anc-tv.ne.jp/hotaka-c/>）または同組合窓口、各総合支所内地域支援課窓口でご覧いただけます。



答申書の概要を伝える福島委員長（写真右）

■本庁舎建設検討の経過を5地域で説明

市は11月19日から29日にかけて、市内5地域で本庁舎建設検討にかかわる市民説明会を開催しました。

この説明会は、9月に全戸配布した建設基本構想のダイジェスト版を詳しく説明し、皆さんから意見をいただくために開いたもので、5日間で延べ622

人が参加しました。

来場者からは、市の財政が今後どうなるかといった質問、庁舎の規模がどの程度になるかといった質問、既存施設が有効利用できないかという意見などが寄せられました。

宮澤市長はそれぞれの会場で、「来年の5月までに建設場

所を選定し、具体的な基本計画を作成したい」と今後の方針を示しました。

来年1月20日発行の「広報あづみの」では、今回説明会の内容も含め、これまでお問合わせの多かった質問や意見などをまとめ、市の回答とともに掲載する予定です。



三郷会場での説明会（11月25日）

■「水道料金の統一」が望ましい「審議会」が答申

市の水道事業運営審議会（矢ヶ崎記久会長）は11月20日、現在、旧5町村ごとに異なっている水道料金を統一するよう宮澤市長に答申しました。

答申では、一般家庭の大部分を占める13ミリの基本料金は、10立方メートルまでを、ひと月1500円に統一することが望ましいと提言。実現すれば、豊科と堀金は

現状どおり、三郷は240円値上がり、穂高は250円、明科は335円値下がります。このほか、加入分担金の統一、穂高別荘の水道料金を一般の料金体系に切り替えることも提言しています。

市では、来年3月議会に改正案を提出する予定で、来年10、11月徴収分の基本料金から適用することを目指しています。



答申書を手渡す矢ヶ崎会長（写真中央）

■庁内プロジェクトチーム 部署の枠越え「水物語」提案

市のさまざまな部署の担当者で構成する庁内プロジェクトチームは11月24日、安曇野の豊かな水資源を守り、生かすための施策をまとめ、宮澤市長に提案しました。

この取り組みは、市が長期的な重点プロジェクトとして総合計画に位置づける「水」、「食」、「交流」プロジェクトのひとつで、事業の連携や相乗効果を図るために進めています。

提案は「安曇野水物語」と銘打ち、企業や観光客などから募った基金で、地下水を深くくむ

取り組みや、水の魅力を体系づける取り組みなどをあげています。今後は各課でさらに検討を重ね、事業の実現に向けて取り組んでいく予定です。来年度は、さまざまな水の魅力や情報をまとめたホームページと「水マップ」の作成に着手する方針です。



中堅職員でアイデアを練った

ご利用はお早めに！

安曇野市プレミアム商品券

「安曇野市プレミアム商品券」の有効期限は、平成22年1月11日（月）です。お忘れのないようお使いください。

三郷総合支所内産業観光部商工労政課
TEL77・3111 FAX77・6060

監査委員の選任

横山実さんと千國倅嗣さんが監査委員を退任し、新たに山中崇さんが11月25日付けで、千國寛一さんが11月27日付けで選任されました。



監査委員
山中 崇



代表監査委員
千國 寛一

「場」を求めて

必要とされたい。理解されたい。居場所がない——。インターネットの世界に自分の居場所を求める人。子育てや介護をひとりで背負い込み、途方にくれる人。退職後、肩書のない自分に戸惑う人。

孤独という暗闇が、現代のさまざまな社会問題を引き起こしています。

かつて、私たちの地域には、農家の寄り合い、あぜ道、子どもたちがいつの間にか集まる場所など、人と人が自然に触れ合う場が多くありました。そこは、地域の助け合いの場となり、生き生きとした活躍の場にもなり得ました。

職業が多様化し、暮らしぶりも変化した現在、個人の生き方を認め合いながら、新しい形で「場」をつくる人たちがいます。

今回の特集では、市民がつくった3つの「場」を訪ね、そこではぐくまれるものを、探ります。



エピソード 1
新屋健康マージャン推進隊
ユニークな男性の交流の場として、地域づくりに貢献しています。



エピソード 2
介護者サロン円(まどか)
家族だけでなく、他人との緩やかなつながりが心を支えています。



エピソード 3
あそぼせ隊
子どもたちの自由な遊び場は、何をはぐくんでいるのでしょうか。

「ジャンボ牌(ばい)」を持つ降旗さん。体積が普通の牌の2.4倍で高齢者にも見やすい。この日は昔から使い慣れた普通の牌を使用。



豊科・細萱(ほそがや)区には3つの公民館がある。新屋(あらや)公民館はその中で一番小さな公民館。ちなみに穂高有明にも同名の公民館がある。



おとこしゅう 男衆の社交場 エピソード 1 新屋健康マージャン推進隊

賭けない、吸わない、飲まない。

「リーチッ」。

11月中旬、細萱区新屋公民館。今年最後のゲームは、午後7時から2卓を囲み、始まった。

新屋健康マージャン推進隊は、約95世帯を範囲とする新屋公民館の事業として昨年6月に活動をスタート。本年度からは運営の一切を「推進隊」が行い、隔月の第2金曜日にゲームを楽しんでいる。

これまでの参加者は50代から70代までの男性17人。地元で生まれ育った人、数年前に引っ越してきたばかりの人が交わり、牌を握った。

「国士無双が出ましたよ」。

公民館の北側に住む小岩井さんが、牌をバタッと倒した。大役を完成させ、場は大いに盛り上がる。

「ぼちぼち時間ですね」。

開始から2時間が経過した午後9時、代表の降旗敦海さん(70・豊科南穂高)が合図を出し、この日のゲームが終了した。

一般的なマージャンのルールに時間制限はない。しかし、ここではあえてそれを設けている。

「マージャンは刺激的な遊びですから。徹夜になるとや、タバコや酒が無意識に進むこともあります。だから、制約のある中で楽しむ」と降旗さん。

頭脳的な遊戯であるマージャンは、脳の活性化に最適といわれ、近年注目を浴びている。その一方で、その賭博性などから不健康の象徴というイメージも強い。そこで推進隊では、4つの基本方針を定めた。

——賭けない。タバコを吸わない。酒を飲まない。3時間以内に終わらせる——。自らを律したルールの中で、隣人との真剣勝負を楽しんでいる。



参加者のマーじゃん歴もそれぞれ。中には30年ぶりに打つ人もいた。地元紙に取り上げられた時には、多くの人から激励の言葉が届いた。



男はつらいよ

最初から地域の交流に熱心だったわけではない。降旗さんは、仕事で全国各地を転勤し、退職後の平成16年、旧豊科町の奥さんの生家に入った。その3年後、任期2年の地区の公民館長がまわってきた。そしてその後、衝撃的なニュースを耳にする。一人暮らしの高齢女性が被害者となった殺人事件が、自宅から数100メートル離れた所で発生したのだ。

容疑者は、県外出身者で全国を転々とし、仕事で豊科



に住んでいる間に事件を起こしたという。これまで降旗さんが抱いていた安曇野の牧歌的なイメージを覆すような衝撃的な犯罪だった。

——安曇野でも孤独を抱える人が多いのではないかと。

さまざまな経歴を持った人がこのまちを行き交い、暮らしている。そういった人にメッセージを送る必要があると考えるようになった。

降旗さんはまず、地域内での「あいさつ運動」に取り組む。子どもはもちろん、知らない人にも進んであいさつをするよう、公民館報や役員を通じて広く呼び掛けた。相手の存在を認め、知ることが地域を元気にし、防犯にもつながると考えたためだ。

そして、館長2年目となる昨年6月には、健康マージ



指を動かし、3人を相手に、34種136枚の牌の行方を監視し、さらに6けたの数字を暗算で計算するマーじゃんは、脳活性化には最適といわれ、近年注目を浴びている。

ヤン推進隊を発足させる。

この日の参加者みんなで記念撮影。「家族の皆さんも興味を持ち、参加してくれたら理想です」と降旗さん。

「実は私自身、すぐに心を開く方ではないんです。自分のことを一般化して恐縮ですが、男には変なプライドや殻があって、すんなりと打ち解けられない部分があるのではないのでしょうか」と降旗さん。男性は、女性に比べ、地域に知り合いが少なく、口ベタ、社交ベタが多いといわれる。そこで降旗さんは、働き盛りであった時代に、全国の赴任先で、同僚などの親交を深めるために楽しんできたマーじゃんをしようと考えた。

「ゲームに集中することで、会話の『義務感』から解放され、自然に交流も進みます。ある意味でマーじゃんは、スキンシップのあいさつです」。

かくして、モーレツな時代に培った降旗さんのノウハウは、地域づくりにも生かされることになる。

場づくりには王道なし

参加者は、マーじゃんを打つことを目的に集まってくる。しかし、このようなプライベートな集まりが、公益性の高い活動に発展することがある。

実は、午後9時の終了後、5000円の交流会費を出し合い、対戦中にはご法度とするお酒を、少しだけ飲む。「時に本音が出たり、地域の話題になったり。近くで起きた事故や事件の話、入院や通院の体験など思わぬ情報を得ることができます。私はこの時間がマーじゃんよりも好きですね」。

実際に交流会では、マーじゃんの対戦の話ばかりでなく、防犯灯の不具合、地区内にある道祖神が傾いてしまったという情報、あいさつ運動を広げていくための話など、同じ地域に住むもの同士、自然と地域づくりの話題に広がった。

「腰が……なんて言いながら皆来てくれる。そういう義理みたいなものもあると思います。ただ、毎回、通知は出しますが、出欠は取りません。押しつけない、がっかりしないことが大事。地域の場づくりに、王道みたいなものはないだろうから」。

ユーモアと読みやすさに気を配った手作りのチラシを、今後も隣人に届けるつもりだ。



特集 「場」を求めて



ケアは手薄だった。そこで、家族をケアする場所をどのように作るか、という課題が浮かび上がります。こうした隙間は、基本的には、地域の住民たちが発見して、自分たちに合ったやり方で埋めていくことが望ましいと思います。そこから得られるものは計量化しづらい、つまり商品化しにくいものです。しかし、商品化しにくいからこそ価値があるともいえます。

地域の力は、人々が自発的に持ち寄るものです。余っている方が力を貸すと言ってもよいでしょう。誰でも突然困ることがあるので、もらう側にとってもあげる側にとっても、長期的にみれば帳尻が合うという関係にほかならないのです。そのあたりが、短期的に利益を得るように行動しがちな経済原則とは違うところでしょうね。

Q5 地域の力を再生するにはどうすれば良いでしょうか。

地域のつながりが弱まった要因として住宅の話をしました。もう1つ重要なのは職場のあり方だと思います。

日本の労働時間は欧米諸国に比べて極めて長いといわれています。特に男性では、職場こそが自分の居場所であると感じている人は多いのではないのでしょうか。だからこそ、退職、とりわけ予期していなかった形で職を失うことは、経済的な面だけでなく、心理的な面でも大きなダメージを受けることとなります。そうしたダメージを和らげるためにも、特定の場に依存してしまうのではなくて、性質の異なるいくつかの場にかかわっておくと良いかもしれないですね。地域はその1つになりえるでしょう。

これは、社会全体の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」にかかわる問題でもあります。つまり、家庭と職場が変わらなければ、地域という場を再生することはできません。ただ、順序は逆でもいいと思うのです。まず、地域でのつながりを取り戻すことによって、家庭と職場のあり方を少しずつ変えていくこともできるのではないのでしょうか。

Q4 地域のは、時代遅れ?

近年、社会福祉学などで「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」という言葉がよく使われるようになりました。多様な人々を包み込む力をもった場が求められているということでしょう。

居場所を失うという事態は、誰にでも起こりうることです。そのようなときに立場に関係なく助けを求められる場があると、心強い支えになると思います。

また、制度とプライベートな生活の間には、必ず隙間が生まれます。例えば、介護保険という制度と家庭との間。介護保険は要介護者には機能的な制度ですが、

人文学部
准教授が
答える

場ノチカラ

Q&A



蛇口の向こうのことは専門の人に任せようということになりやすいでしょう。

また、自動車が普及する以前は、道は人や物が通過するだけでなく、交流の場や遊び場でもありました。機能を優先することで、確かに生活は便利になったのですが、それまで地域で共有されてきた場も失うことになったわけです。

Q3 地域の空間には、どんな変化がありましたか。

まず、住まいに着目してみましょう。かつては家庭と職場が分離されておらず、多くの人手を必要とする農家や商家では、複数の家族や従業員が同居することも多かったのですが、夫婦と子どもからなる核家族が1つずつ住宅を持つようになりました。住まいから、職業や核家族以外の同居人が消えていきました。

逆に、家電製品をはじめとする新しい技術が導入されることにより、さまざまなことを家庭で済ませられるようになりました。高度経済成長期、「三種の神器（冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビ）」あるいは「3C（カラーテレビ、クーラー、マイカー）」という言葉が流行語になったように、プライベートな生活を快適にすることこそが豊かさであるという考えが広まりました。

リビングでテレビを見て、自動車で外出してレジャーを楽しむようになると、地域の必然性は薄れていきます。大都市の超高層マンションは、こうした暮らしを体現しているのかもしれませんが。各部分の機能が充実している反面、あいまいな場所が生まれにくくなっているのです。住宅と交通、そして地域のあり方は密接に関わっているといえます。

信州大学
人文学部文化社会学専攻

すけなり
祐成 保志 准教授

社会学の立場から住宅史を研究。2007年に信州大学へ赴任後、安曇野市をはじめとする地域社会の調査に従事している。

教えて。祐成先生

Interview
インタビューその1

現代社会は昔と比べ、人と人が触れ合い、助け合う機会や空間そのものが減ったと言われます。それはどうしてでしょうか。市と連携協定を結ぶ信州大学人文学部の祐成先生に話を聞きました。

Q1 地域で触れ合う機会は、本当に減ったのですか。

内閣府の国民生活選好度調査では、定期的に「家族や職場以外でも積極的に新しい人々とのつきあいを広げていきたいか？」という質問をしています。それによれば、近年、「家族・職場で十分」という人が増えているようです。また、65歳以上の高齢者に対する別の全国調査を見ると、一人暮らしの男性では、近所での「つきあいはない」とする人の割合が4人に1人。そして、「お互い訪問しあう人がいる」人が女性に比べて3分の1ほど、という結果になりました。高齢者の孤独な生活実態がうかがえます。

Q2 どうして減ったのですか。

1つの理由は、利便性や効率を求める社会になってきたからでしょう。例えば農地では、隣り合っていることに特別な意味が生じます。隣で水路が詰まると自分の田んぼに水が来なくなるわけですから、お互いのことをよく知っておく必要があります。一方で、水道が公共事業になれば、

泣きつく場があるか、どうか。

近いからいそ

叩きつけた風呂のフタは、大きな音を立て、3つに割れた。この破片は、私の心、そのものではないか。

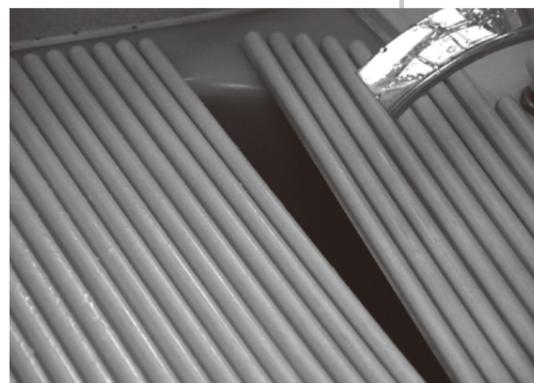
柴俊子さん（当時48・三郷明盛）は、自分の心と体が限界だということに、ようやく気が付いた。

俊子さんの家族は、夫、実母、看護師の長女、高校生の長男の5人。平成8年に実母が脳出血で倒れてからは、介護が俊子さんの生活の中心を占めるようになった。

母の食事介助や身の回りの世話のために病院へ通い、薬を飲ませ、目をつむったのを確かめてから帰宅する毎日。退院後、在宅介護になった母親は、2度目に倒れた時に視野狭窄を併発。目がほとんど見えなくなったパニックで、1日中、俊子さんの名前を呼び続けた。3度目の脳出血で母親の病状は一気に進み、左半身麻痺、物事の認知もできなくなってしまった。

自分を大事に育ててくれた母親だからこそ自分が守らなければという思いと、夫や子どもたちにはできるだけ

特集 「場」を求めて



心労が原因で、衝動的に投げつけた風呂のふた。介護中の足跡は今も自宅に残る。

日常生活での負担を掛けたくないという思いが交錯し、俊子さんは「つらい」、「助けて」ということを言えぬまま、母の介護を続けた。そして、その感情はある日、堰を切ったかのように一気にあふれ出す――。

退院した母親を風呂に入れようと準備をしていた時のこと、居間でテレビを見ながら「あはは」と笑う家族の声が聞こえてきた。

俊子さんは思わず、手にしていた風呂のフタを床に叩きつけた。これまで無意識のうちに押し込めてきた感情が、思いがけない行動となって現れたのだ。

俊子さんは自分のしたことに驚き、震えながら、その場に立ちつくした。

大きな音が付き、最初に長女が風呂場に駆けつけた。家族は皆、俊子さんのことをいつも気遣っていた。しかし、その精神が、もはや限界だということが、ここで初めて分かった。

*視野狭窄 視野が狭くなったり、部分的に見えなくなる症状。

母・智恵子さんは、71歳の入院から80歳までの9年間、13回の入退院を繰り返し4年前に他界。「自分の経験が誰かの役に立てるなら」と俊子さんは介護体験を克明に話してくれた。取材前、手を合わせる。

編み棒は、倒れる前の母が愛用していた大切な形見。「きつと家族のことを思いながら編んでいたと思います」と俊子さん。あたたかな日々を今も忘れぬ。

他人の一言

肉親だからこそ、言えない。無理をしてしまう。時として家族は、そんなもどかしさを抱える。

俊子さんはその後、ついに自らも体を壊して入院。そのことを機に、母親の施設入所を決めた。それは家族にとって、とてもつらい決断だった。

介護の負担が減った分だけ、愛情を掛けて通えばいいと自分に言い聞かせたが、自分の親を施設に預けたという罪悪感がいつも心を離れなかった。そして、母親の「今度はいつ来る」という言葉が、俊子さんの頭の中を何度もこだました。

そんなある日、思い詰める俊子さんの様子を人づてに聞いた施設の職員が、力になろうと自宅を訪ねてきた。その職員は、わざわざ家から遠く離れた所に車を止め、歩いてやってきた。それは、見慣れぬ車が目立ってはいけないうと、周りの目をさりげなく配慮したためだ。

俊子さんは、初対面のこの職員に不思議と心を開くことができた。胸に秘めたこれまでの思いを、さらけ出すことができた。そして、話をすべて聞き終えたその職員は、静かに口を開いた。

「柴さんの心には、長い、布団針が刺さっていたんだね」。その一言を聞いたとたん、俊子さんの胸のつかえは、すうっとなくなり、頭の中の霞が晴れていった。

――この人は、私のことを理解してくれている。自分が周りに言いにくいことに耳を傾け、理解してくれる人がいる。それは、とても心強いことだと感じた。

特集
「場」を求めて

「家族は何より大切な心よりどころ。だけど、他人のさりげない優しさや温かさに心から救われることもあります。地域にそんな場が増えるといいですね」。

俊子さんは言う。

在宅で看る人、施設で看る人、手品のボランティアをしてくれる人、いつも知らぬ間に湯飲み茶わんを洗ってくれる人、手作りのお菓子や漬物を持ってくる人、それぞれが共感し、いたわり合いながら、ありのままの気持ちを交換している。発足から現在まで、例会の参加者は112人。皆、人との触れ合いを求めてやってくる。

活動は毎月第2水曜日。市の社会福祉協議会三郷支所に集い、お茶を飲みながら、お互いの気持ちをざっくりと語り合っている。口コミで評判が広がり、市外からも参加者が訪れるようになった。

そんな思いから、平成12年4月。知人と2人で介護者同士の触れ合いの場を作った。みんなの気持ちが円くなるようにと、名前は「円」とした。

「介護する人が何でも話すことができ、悩みを打ち明けられる場が必要とされている。それを作るために、私も何か協力したい。」

当時、介護経験を聞くような講座はいくつかあったが、実際に介護している家族がお互いのつらい気持ちを話したり、心のケアをしたりする場は、行政などにはなかった。

家族に言いにくい悩みを気軽に話せる人を見つけるのは、思いのほか難しい。

気持ちが円になると、いいね

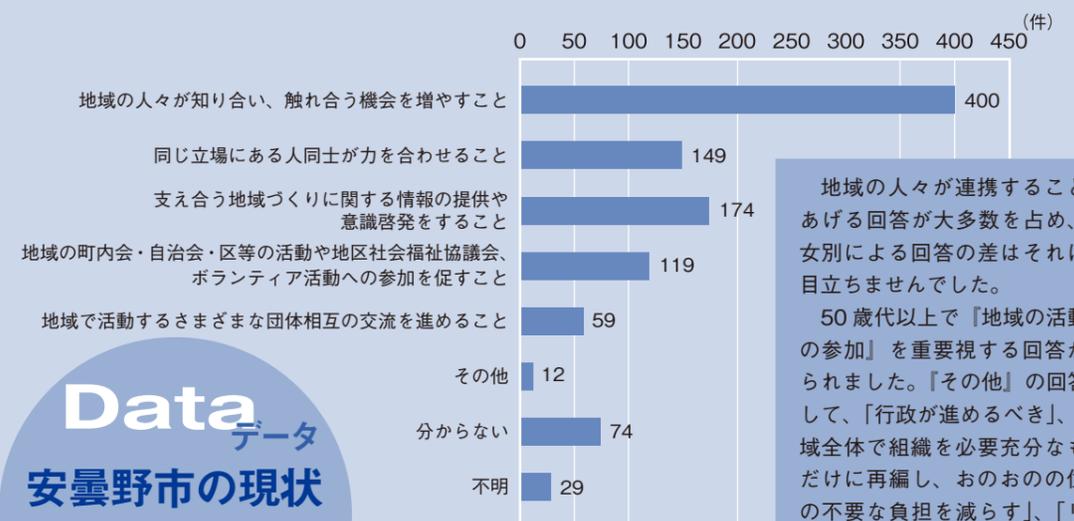
11月中旬に社協三郷支所で開かれたサロン。この日は20人が参加。妻を在宅介護する苦悩を話す男性。母親の施設入所を決め、戸惑いの気持ちを話す女性。介護者の悩み、苦しみは様々ではない。



この日は施設の職員や介護職員も加わり、それぞれの思いを話し合った。右から2番目が俊子さん。



Q. ともに支え合う地域づくりに必要なことは？（複数回答）



地域の人々が連携することをあげる回答が大多数を占め、男女別による回答の差はそれほど目立ちませんでした。

50歳代以上で「地域の活動への参加」を重要視する回答がみられました。「その他」の回答として、「行政が進めるべき」、「地域全体で組織を必要充分なものだけに再編し、おのおのの住民の不要な負担を減らす」、「リーダーを養成する」、「義務として付き合うようにする」、「あいさつ程度の知り合いを増やしておく」などがありました。

Data データ
安曇野市の現状
安曇野いきいき共生プラン（安曇野市地域福祉計画）策定の取り組みの一環で市が平成18年に行った調査より抜粋

遊び場をつくる

遊び場が、足りない

ランドセルを放り出し、空き地や田んぼなど「遊び場」へ飛び込む。そこは、子どもたちだけの世界。遊び場では、誰にも遠慮せず、自分たちだけの力で小さな社会を作っている。

しかし近年では、不審者の情報や安全上の問題などで、子どもたちが過ごす自然な遊び場が失われつつあるようだ。

本年1月に市教育委員会が市内の児童を対象に行った調査では、43%の子どもが放課後を家の中で過ごし、公園や神社などで遊ぶ子どもは9%と少なかった。また、平成19年8月に穂高・三郷・堀金地域で行った調査では、遊び場の確保を望む親たちの声が多く、その理由として「異年齢の子どもとの遊び、集団での遊び、十分な遊び込みをさせたい」が49%、「子どもを外で遊ばせたい」が31%という結果だった。

市では昨年度から、放課後子ども教室「わいわいランド」を全小学校区で実施。下校時間が早い日の放課後、学校の体育館などを利用して、ボランティアスタッフがさまざまな遊びや交流を行う事業を始めた。そして、各地域においても、自主的に子どもたちの遊び場を提供す



なるべく手出し、口出しをしないのが基本方針。最初から価値観を打ち出してあるので、親同士が大きなトラブルにつながるようなことはない。



る活動が広がっている。
穂高有明の「あそばせ隊」は、平成16年に発足。市が遊び場所の確保に動き出す以前から、穂高・新屋公民館を拠点に子どもたちを見守っている。

手出し、口出しをしない

10月下旬、午後4時。
公民館には、帰宅途中の子どもたち数十人が自然と集まってきた。追いかけてこ、相撲、おしゃべり、探検ごっこなどをして、自由に飛び回っている。

幅広い年代が入り交じったグループでは、缶けりが始まった。何やら子どもたちは年少者も年長者も楽しめるような遊び方を工夫しているようだ。

引っ込み思案の子には、高学年の女の子が手招きし、仲間の輪に入れようとしている。

男の子4人で始まった相撲では、ルール違反をした子を厳しく律した後、再び全身で絡み合って遊んでいる。皆、生き生きとした表情だ。

「そう言えば、始めたばかりのころは、『おばちゃん、何をしたらいい』と聞いてくる子もいましたね」。

そう話す安達亜紀子さん(42・穂高有明)は、あそばせ隊の代表者。近隣の主婦3人と会を発足し、現在も運営に携わっている。

実際の活動は、毎週水曜日の午後3時半に始まる。メンバーで都合のつく人が公民館の鍵を開け、徐々に親子が集まると、お茶を囲みながら、子どもたちの遊ぶ姿を見守っている。

モットーは、手出し、口出しはなるべくしないこと。



宿題をする子、小さな子と遊ぶ子、遊具やボールで遊ぶ子。過ごし方はさまざま。異年齢でも自然な形で触れ合っている。



特集 「場」を求めて

男の子同士で相撲が始まった。土俵がないので、壁に背中をつけた方が負け。ルールは自分たちで決めた。



市民活動の新たな拠点として昨年10月にオープンした「くるりん広場」。34の市民団体、6個人が登録する「わの会」が、市とパートナーシップ協定を結び管理運営を行っています。オープンして1年余り。手応えはどうでしょうか。わの会会長の今泉さんと事務局長の磯野さんに話を聞きました。



——市民活動センター「くるりん広場」はどんな場ですか。

今泉 まずは市民団体の「活動の場」ですね。わの会の登録団体が会議などの活動に使っています。それと「情報発信の場」。各団体の活動情報、行政資料が閲覧できます。また、月に1回程度、「くるりん広場講座」を開いたり、隔月の情報誌「くるりんニュース」を発行したりしています。

磯野 市民の「交流の場」にもしていきたいですね。1階と2階にあるフリースペースは20席入る会議机があって、予約なしで利用できます。わの会の登録がなくても打ち合わせなど利用でき、おすすめ

——市民活動センターを市民が管理するのは珍しいそうですね。

今泉 利用者である市民団体が市とパートナーシップ協定を結び管理しているのは、国内でも少ないと思います。

磯野 ユニークですね。日直や清掃などの管理のほか、各部会に分かれての運営企画を行うなど、利用者ですがお客さまで



穂高総合支所の西隣に位置する

はない立場です。これがあるから面倒という考えもありますが、「貸していただきます」という感じにならないのはメリット。自分たちの物を保管できるスペースがあったり、事務所の窓口にもなったり、使い勝手も良いです。

——行政のサービスとの違いは？

今泉 行政が大きな場を提供することも大切ですが、市民がやった方が小回りの利く部分があると思います。行政との協働は、区（自治会）が大きな存在ですが、目的型の市民活動もこの場で育てばいいなと思います。

磯野 行政には公平性という縛りがあって、個性的な展開

わの会会長 今泉 一さん

安曇野ブランドデザイン会議の市民活動センタープロジェクト情報部会の部会長を経て、平成20年7月、会長に就任。

が難しいという宿命があると思います。その点、ここは自分たちがやろうと思えばできる。そういう意味で多彩な公益的活動の一面を見ることが出来ます。

——最後に抱負を一言。

今泉 まちづくりに情熱がある人が「ここに来れば何とかなる」という場になるのが理想です。

磯野 こういう場があることを多くの人に知ってもらいたいです。気軽に足を運んでください。

市民活動の新たな拠点 「くるりん広場」



わの会事務局長 磯野 康子さん

NPO法人「あづみ野風土舎」代表。団体を通じて、地域・風土に根ざした教育・環境保全・文化活動を行っている。

特集 「場」を求めて



10月下旬、読み聞かせの活動を行うサークル「有明文庫」が遊びに来てくれた。あそびせ隊の活動を行う中で、横のつながりも増え、心強さも増した。

子ども同士のけんかは自分たちで解決させ、遊びも自分たちで工夫させる。発足したころは、どう遊んで良いか分からない子もいたが、子どもが自ら遊びを創り出すのには、そう時間は掛からなかった。

「すぐに、追っかけっこが始まり、探検ごっこも始まりました。昔も今も、遊び場があれば、自分たちで工夫して遊ぶということが、よく分かりました」と安達さん。

子どもたちの遊びは、目に見えるような育ちの成果を求めたものではない。しかし、仲間と過ごす自由な場は、自然な思いやりや遊びの創造力をはぐくんでいるようだ。

そして、親同士の交流も進んだ。年齢の高い子どもを持つ母親から情報を得ることができたり、子どもの共通する悩みを話したり、忙しいときには面倒を見合ったりするなど、1分1秒子どもと向き合っている親同士がともに支え合うことができた。

「ひとりのためであっても、ふたりのためであっても、親と子どもが、ここが良い場だと言ってくれるなら、やってきて良かったと思いました。子どもにとっても、よ



「無理なく楽しく」と抱負を話す安達さん。

その親にかわいがってもらえることは宝だと思います。

ゆるい雰囲気だから続いた

昨年、市の「わいわいランド」がスタートしても、遊ばせ隊の活動が終わることはなかった。

「少人数の気軽さや自由さがある『あそびせ隊』、大人数でも安心して楽しめる『わいわいランド』。子どもたちの遊び場の選択肢も広がりました。それにボランティアパトロールの活動もあって、最近では本当に安心して遊べる気がします」。

遊ばせ隊に出席の義務はなく、いつでも来られて、いつでも帰れる。発足して5年、これまで子どもたちに開放感を提供できたこと、そして、活動を続けられたのは、この「ゆるさ」のおかげだと安達さんは振り返る。

「集まる人が気を使わない関係になって、お互い負担を軽減し合えるようになりました。長く続けるには、自分がしんどくならないこと、無理をしないことも大切な」。気負わず、大上段に構えないその姿勢は、子どもたちの笑顔となって表れている。

つながりひろがる地域づくり事業 成果発表交流会

今回の特集で紹介した3つの団体は、市民活動を支援するために設けられた「つながりひろがる地域づくり事業」の補助金を過去に活用したことがあります。本年度の団体の活動を広く公開し、交流を図るイベントを開催します。ご興味のある皆さんは、ぜひお越しください。

- 日時 平成22年3月7日(日) 13:00 受付
 - 場所 豊科ふれあいホール
- 岡県安曇野庁舎内まちづくり推進課
(TEL 71・2000 71・5000)



昨年の成果発表交流会。11団体のステージ発表、16団体のパネル展示が行われた。また、交流会では、お茶を飲みながら情報交換が行われた。260人が来場。

市民活動センター「くるりん広場」 ご利用案内

くるりん広場では、さまざまな市民活動や行政情報を提供しており、どなたでも利用できます。開館は月曜から土曜日の午前9時から午後5時まで。会議室は午後9時30分まで利用できますが、原則、施設の管理運営も行う「わの会」への登録が必要です。

岡くるりん広場 (TEL FAX 82・1922)

URL <http://www.azumino-sk.net/>



月1回開催する「くるりん講座」。10月は新聞で薪(まき)を作る講座とダンボール箱を使って堆肥(たいひ)を作る講座が開かれた。1月23日(土)は、「わらしべ長寿(物々交換会)」とマイはし作りの予定。

特集終わり

「場」は、 まちづくりの出発点。

困った時の支えとなるのが、公の役割だといえます。その役割を果たすため、市は公務を能率的に運営し、責任を持って職務を執行しなければなりません。それと同時に、私たちが本来持っている自然な助け合いを、社会全体ではぐくむ必要があります。

今回紹介した3つの「場」は、人と人が交わることで助け合いが生まれ、それが公を厚くしていました。

人は自然に助け合う――。

だからこそ、私たちが関わりあう「場」が必要です。

サービスの送り手でも、受け手でもない
そんな「場」が、このまちには、あります。



お知らせ

新型インフルエンザワクチン接種スケジュールが変わります

健康推進課健康推進係
TEL: 0726 FAX: 0703

新型インフルエンザワクチンの優先接種のうち、次の対象者の予約開始日と接種開始日が変わりましたのでご注意ください。
ワクチンは時期をおいて生産・供給されることから、一度にすべて

変更後の接種スケジュール

接種対象者	予約開始日(予定)	接種開始日(予定)
小学校4～6年生	12月10日～	1月7日～
1歳未満児童の保護者	12月17日～	1月7日～
中学生	12月21日～	1月7日～
高校生	1月以降	1月以降
65歳以上の高齢者	1月以降	1月以降

ての人が接種を受けられるわけではなく、実際の接種では開始時期より後になる場合がありますので、ご理解ください。予約は直接医療機関へご連絡してください。医療機関名など詳しくは市ホームページをご覧ください。

皆さまと新年を祝います 安曇野市新年祝賀会

企画課

TEL: 2000 FAX: 5000

市民の皆さまとともに新年を祝い、市のさらなる発展を願うため、新年祝賀会を開催します。申し込みは不要です。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

- 日時 1月4日(月)▽受付午後3時～▽開会午後3時30分
- 会場 安曇野スイス村サンモリッツ
- 会費 1000円
- その他 当日は名刺をご用意ください(名刺のない場合も参加できます)。酒宴を伴いますので、車での参加はご遠慮ください。

男性のための料理教室

地域支援課庶務係

TEL: 3111 FAX: 8340

豊科各種団体等連絡協議会では、自分で作った料理のおいしさを知ってもらおうと、男性を対象とした料理教室を開催します。初めての人も、腕に自信のある人も、お気軽にお申し込みください。

- 日時 1月23日(土) 午前9時30分～午後0時30分
- 場所 豊科保健センター調理室
- 費用 200円(材料費)
- 定員 30人(先着順)
- 持ち物 エプロン・手ぬぐい
- 申し込み 1月15日(金)までに電話でお申し込みください。

2010年世界農林業センサスにご協力を

企画政策課情報統計係

TEL: 2000 FAX: 1223

国、県、市では、平成22年2月1日現在で2010年世界農林業センサスを実施します。調査は農業や林業を行っている農家、林家、法人を対象とし、調査員が調査書類を配布、回収する「農林業経営体調査」と、農業集落の精通者の皆さんに調査員が聞き取りで実施する「農山村地域調査」の2種類があります。結果は、国、県、市などがこれからの農林行政などを考える重要な基礎資料として活用されます。

回答内容を目的以外に使用することは禁じられています。また、記入後の調査票は厳重に保管し、集計後は溶解処分するなど情報の保護には万全を期しておりますので、安心してご協力をお願いします。(調査員は「調査員証」を携行しています)

精神保健福祉ボランティア養成講座

社会福祉課障害福祉係

TEL: 0724 FAX: 0703

精神障害者への理解を深め、地域で共に支え合い、誰もが暮らしやすい地域づくりをするためのボランティア養成講座を開催します。第1回から第4回までの講座を通して受講でき、受講後に活動できる人ならどなたでも参加できます。

- 定員 各回20人
- 申し込み 1月12日(火)までに電話でお申し込みください。

内容

教室名	日時	定員・料金
アクアピクス(火曜日コース)	1月5日～(全12回) 15:00～15:45	定員：各教室とも45人 受講料：2400円 使用料：600円(毎回) ※入浴料込み
アクアピクス(金曜日コース)	1月8日～(全12回) 13:45～14:30	
ウォーキング(火曜日コース)	1月5日～(全12回) 13:45～14:30	

あづみ野ランドでは1月から始まる健康教室の参加者を募集します。運動不足、シェイプアップなど、年齢に合わせた無理のない水中運動を体験してみませんか。
●申し込み 12月24日(木)までに電話かFAXでお申し込みください。(午後1時30分～6時)申し込み多数の場合は、12月25日(金)に抽選を行い、当選者には28日(月)までに電話で連絡します。落選者への連絡はありませんのでご了承ください。

音楽に合わせて有酸素運動と筋力アップ 水中健康教室

豊科高広域施設組合あづみ野ランド

TEL: 0256 FAX: 0257

若年者向け就職支援講座

「就職活動をしたけれど、何から始めれば良いかわからない」、「何社か面接してみたが自信が無い」などの悩みをお持ちの皆さん。同じ悩みを持った仲間との情報交換や、キャリアコンサルタントによる講習を受けてみませんか。
●対象者 求職活動中の若年者(39歳くらいまで)
●日時▷1月14日(木)・15日(金)・22日(金)・28日(木) 18:00～20:00▷1月21日(木)・29日(金)18:00～21:00
●場所 松本市筑摩 若年者地域連携事業推進センター
◎若年者地域連携事業推進センター
(株)コミュニケーションズ・アイ(TEL:27-5010 FAX:29-2608)

日時	場所	内容・講師
第1回 1月18日(月) 13:30～16:00	穂高健康支援センター	講演：ボランティア活動と地域活動 講師：山岸久美子さん(社協ボランティアコーディネーター) 講演：障害者への福祉サービスについて 講師：近藤真由子さん(松本圏域障害者支援センターあるふ相談支援員)
第2回 2月8日(月) 13:30～16:00	穂高健康支援センター	講演：精神障害の理解と接し方 講師：東 孝博さん(篠崎医院豊科診療所院長)
第3回 2月9日(火)～19日(金)のうち半日 9:30～12:00 13:30～16:00	れんげの家・野の花・ひめこぶしの家・保健センターなど	実習：施設にて利用者とともに過ごします。
第4回 2月24日(水) 13:30～16:00	穂高健康支援センター	当事者の話 グループワーク：ボランティア活動を始めるために

統計功労者表彰 安曇野市から8人

平成21年度長野県統計功労者表彰式が11月9日、県庁講堂で開催されました。市からは、総務大臣表彰(平成20年住宅・土地統計調査)に曾根原寛一さんが、県知事表彰(統計行政協力者表彰)に金森孝夫さんが、県統計協会会長表彰に飯沼幸作さん、小山満智枝さん、高橋正紀さん、中嶋政行さん、原美智代さん、山本久志さんが受表彰されました。また、経済産業省所管統計調査員として真峯嗣さん、二木薫さんが感謝状を授与されました。



写真左から金森さん、飯沼さん、曾根原さん、小山さん、中嶋さん

◎企画政策課情報統計係(TEL:71-2000 FAX:72-1223)

(財)長野県市町村振興協会の助成で公園遊具などを整備



(ストリートバスケットゴール) 整備された公園遊具の一部

三郷地域の中萱区(白澤清孝区長)は、財団法人長野県市町村振興協会の平成21年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)を活用し、スポーツを通じたコミュニティづくりに必要なストリートバスケットゴール、グラウンドゴルフセットなどの公園遊具等の備品を整備しました。なお、この事業は、コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報事業のために行われています。

◎地域支援課まちづくり推進係(TEL:77-3111 FAX:77-6060)

◇お詫びと訂正◇
広報あづみの93号(12月2日発行)3ページ 年末年始の休業
Vif(ビフ)穂高
[正] 12/31午後休 1/1/1/3
[正] 12/31/1/3
お詫びして訂正します。

**12月1日～31日
年末特別警戒実施中!**

■安曇野防犯協会連合会 安曇野警察署
または ■環境課 交通防犯係
(TEL 82・3131 FAX 82・6622)
(TEL 72・0110)

日ごろから、自主防犯意識を高め、犯罪者を寄せつけない安全安心な街づくりに取り組みましょう。
年の暮れ

みんなで作ろう 安心の街
！振り込め詐欺対策は

・身に覚えのない料金請求のメールやがき、電話、ファックスがきたら警察に相談しましょう。
・家族にしか分からない「合言葉」を決めておきましょう。

！車上ねらい対策は

・わずかな時間でも車を離れるときは必ずドアロックをしましょう。
・わずかな時間でも、バッグなどは持つて出るようにしましょう。

！自転車盗難対策は

・面倒くさがらずにカギと補助錠の二重ロックをしましょう。

・防犯登録をしましょう。

！侵入盗難対策は

・留守にするときは必ずカギを掛けます。
・ドアや窓ガラスには補助錠と防犯ブザーをつけましょう。



**12月25日～30日
火災予防特別警戒実施中!**

■危機管理室
(TEL 72・6769 FAX 72・6739)

これからの季節、空気が乾燥し、季節風も強くなるため、ちょっとした油断が火災の発生につながります。火の取り扱いに十分注意して年末年始の火災予防に努めましょう。また、大切な家族の生命を守るために、住宅用火災警報器の設置をお願いします。

火の用心 7つのポイント

- 1 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこや、たばこの投げ捨てはしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強い時はたき火をしない。
- 5 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 7 ストープには、燃えやすい物を近づけない。

**農業委員会事務局
出張相談日**

■農業委員会事務局
(TEL 77・3111 FAX 77・6060)

農業委員会事務局では、出張相談を次の日程で行います。

相談日時

- 1月 5日(火)・6日(水) 7日(木)
- 2月 4日(木)・5日(金) 8日(月)
- 3月 4日(木)・5日(金) 8日(月)

※時間はいずれも午前8時30分～午後5時15分

場所 各総合支所産業建設課

**まきストープ愛好家必見
まき会員募集中!**

■耕地林務課林務係
(TEL 77・3111 FAX 77・6060)



限りある資源の有効利用と間伐材の利用推進を目指す薪の提供事業として、まき会員を募集しています。会員登録をすると、市が実施する「薪の提供事業」の実施案内を受ける事ができます。

会員登録条件

市内に在住し、1世帯1人またはストープ1台につき1人とする。また、次の要件を満たす人。

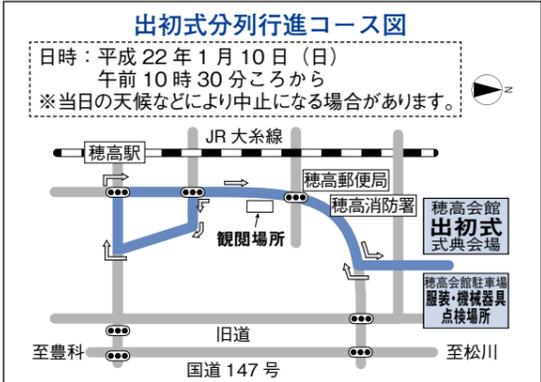
**平成22年
安曇野市消防団出初式**

■危機管理室
(TEL 72・6769 FAX 72・6739)

市消防団では、恒例の出初め式を次の日程で行います。当日は、表彰などを行う式典のほか、分列行進を行う予定です。分列行進は、音楽喇叭隊の吹奏に合わせて約900人の団員と20台の消防車が行進をします。分列行進に伴い、周辺道路などで車両の通行を規制します。ご理解とご協力をお願いします。

●日時 1月10日(日)
午前8時30分

●場所 穂高会館



▽運搬用の軽トラックなどを所持しているか、借用ができること。
▽チェーンソーなどを用い、自身で玉切り、運搬、積み込みができること。

▽第3者への譲り渡し、販売、代理登録をしないこと。

●登録方法 任意の用紙に、記入例を参考に記入のうえ、郵送またはFAXによりお申し込みください。登録は随時行います。申し込み用紙は市ホームページからもダウンロードできます。

●ご注意ください

広葉樹の伐採はあまり行われないため、提供できる量に限りがあります。広葉樹のみ希望の場合はご案内が遅くなりますが、あらかじめご了承ください。また、実施案内の送付は登録順に行います。

●郵送先

399・8101
安曇野市三郷明盛4810・1
安曇野市役所耕地林務課林務係

記入例

住所	電話番号
氏名	年齢
○軽トラック	○所持している
○所持していない	○所持している
○チェーンソー	○所持していない
○所持している	○希望する薪材
○希望する薪材	○広葉樹のみ希望
○針葉樹でもかまわない	

●ご注意ください!
消火器の破裂事故

■豊科消防署(TEL 72・3145)
穂高消防署(TEL 82・3262)
梓川消防署(TEL 78・2090)
明科消防署(TEL 62・2992)

消火器は構造上、使用する際に本体に強い圧力がかかるようになってくるため、大きなキズやさび、変形があると、最悪の場合に破裂する危険性があります。そのような場合は、絶対に使用しないで販売店、メーカーに引き取ってもらいましょう。耐用年数内で正しく維持、管理されている消火器は破裂しませんのでご安心ください。ご不明な点は、お近くの消防署までお問い合わせください。

後援 安曇野赤十字病院 健康生活支援講習
災害時高齢者生活支援

高齢者の避難所生活について、誰もが知っておきたい知識や支援技術を学びます。受講資格はありません。どなたでも受講できます。

- 日時 1月14日(木) 13:00～15:00
- 場所 安曇野赤十字病院講堂
- 費用 50円 ●定員 30人

■安曇野赤十字病院会計企画課三浦さん、丸山さん (TEL 72・3170 FAX 72・2314)
※教材準備の都合がありますので、前日までに予約をしてください。

広告欄 広告についてのお問い合わせは広告主までお願いします

マルイ 男は黙って

第10回業務用加工食品 ヒット賞受賞商品

株式会社 マル井
http://www.wasabi.co.jp

本社 工場 〒399-8206 長野県安曇野市豊科4932
TEL 0263-72-2562 FAX 0263-72-1569

ベトナムあづみの堀金店北隣です!

平日 ランチサービス
ギョーザ半額!!

社員・パート・アルバイト募集中
短時間勤務できる方歓迎!!

まずはお気軽に下記までお電話ください。

安曇野店 店長/新井真文
〒399-8211 安曇野市堀金烏川5046-1 TEL. 0263-73-9890

広告欄 広告についてのお問い合わせは広告主までお願いします

開運堂あづみの菓遊庭

安曇野市三郷温6956 (広域農道沿い)
9時～18時(毎日営業) TEL 76-5060

毎月第2・4金曜日 10時より
出来立て「フワフワどら焼き」限定販売

安曇野の美酒 酔園

蔵見学受付中!!

EH酒造株式会社 TEL 72-3011

〒399-8204 安曇野市豊科高家 1090-1 FAX 0263-72-6268

★広告掲載のお申し込みは、(株)共立プランニング(TEL 34・2515)まで

混雑を避けるなら

早めがねらい 申告相談会

平成21年中の所得等にかかる市県民税の申告期間は、土日を除く2月16日(火)から3月15日(月)です。毎年、申告期間が終了に近づくると大変混雑しますので、お早めの申告相談をおすすめします。

期間前の申告相談会を左表のとおり開催します。いずれの会場へお出掛けいただいても構いません。また、営業、農業、不動産などの所得がある人は申告前に収支内訳書の作成が必要になりますので、お早めにご準備ください。申告相談会の詳細は1月20日発行の「広報あづみの」に掲載します。

●期間前の市県民税申告相談会(予定)

会場	期間
穂高総合支所 大会議室	2月1日(月)～15日(月) (土日祝日を除く)
堀金総合支所 別館大会議室	2月1日(月)～5日(金)
明科総合支所 2階大会議室	2月8日(月)～15日(月) (土日祝日を除く)

所得税の還付申告もお早めに!

給与所得者が年の中途で退職し、その後年末調整を受けなかったり、医療費控除、住宅借入金等特別控除などを受けることで源泉徴収された所得税が還付になる人は、1月4日(月)から松本税務署で還付申告ができます。

市県民税の住宅ローン控除の仕方

平成11年～18年までの間に新築住宅に入居し、所得税の住宅借入金等特別控除が引ききかれていない人は、翌年度の市県民税から控除することが出来ます。この適用を受けるためには給与所得の年末調整を行うか、確定申告を行う必要があります。いずれの申告においても「居住開始年月日」の記載が必要です。平成21年度税制改正に



年末調整のみで確定申告をされない場合は源泉徴収票(給与支払報告書)の摘要欄の「住宅借入金等特別控除可能額」および「居住開始年月日」の記載が必要です。

より「市県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」による市への申告は原則、不要となりました。

また、平成21年以降に住宅に入居した人で、所得税の住宅借入金等特別控除が引ききかれていない人は、翌年度の市県民税から控除することが出来る制度が新たに創設されました。平成21年分については所得税の住宅借入金等特別控除の確定申告が必要となります。10月21日発行「広報あづみの」21ページをご覧ください。

○市県民税申告に関するご相談

■市県民税の住宅ローン控除に関するご相談

■市民税課

(TEL72・3111 FAX72・8340)

○所得税の還付申告に関するご相談
岡松本税務署(TEL32・2790)

市税等のお支払いは

身近で便利なコンビニ納付を!

曜日や時間を気にすることなく市税の納付ができるのがコンビニ納付。4月から金融機関および各総合支所の窓口に加え、コンビニエンスストアでも市税の納付ができ、とても便利になりました。

●コンビニ納付ができるのは

▽市県民税(普通徴収分)▽固定資産税▽軽自動車税▽国民健康保険税 ※手数料は掛かりません。

●コンビニ納付できない納付書は

▽納付書にバーコードが印刷されていないもの。(平成21年3月以前に発行した納付書・催告書等)
▽納付書に記載された取扱期限(各納期の末日から1カ月を経過した日)を経過したもの。

※このような場合は、最寄りの金融機関または各総合支所の窓口で納付いただくか、コンビニ納付ができる納付書を再発行しますので、収納課までご連絡ください。

便利な口座振替にしませんか

忙しくて窓口で納付できない人には、納め忘れのない口座振替をお勧めします。指定した預金口座

から自動的に払い込まれますので、納期のために納付に行く必要がありません。安心、安全で大変便利です。ぜひご利用ください。

●申し込み 口座振替依頼書に必要事項を記入し、預金通帳、届出印、市税等の納付書を持参のうえ、預金口座のある金融機関が各総合支所の窓口、または、市役所担当課窓口へ提出してください。

口座振替にしている皆さんへ

現在、市税等の口座振替を利用して、次の変更があった場合は、変更・解約の届け出が必要です。ので収納課までお申し出ください。

- ▽納税納入義務者が死亡した場合
- ▽婚姻・離婚等で氏名が変更した場合
- または相続等で名義変更があった場合
- ▽国民健康保険の加入世帯で、世帯主が変更した場合
- ▽預金口座・預金名義・口座番号等の変更、または通帳を解約した場合

市税等特別休日窓口の開設

市では、歳末市税等納税促進強化期間(11月16日～12月31日まで)に合わせて、「市税等特別休日窓口」を次の日程で開設します。平日仕事などの都合により市役所(総合支所)に向いて市税等の納付および納税相談ができない人はご利用ください。

●日時 12月27日(日)

午前9時～午後4時まで

●場所 豊科総合支所および穂高総合支所地域支援課税務会計係

○コンビニ納付に関するご相談

■収納課
(TEL72・3111 FAX72・8340)

電子証明書の予約発行 手続きはお早めに

始める前に 電子証明書が必要です



e・Tax(国税電子申告・納税システム)は、自宅から所得税などの申告を行うことができます。申告では一定の書類の添付が不要になるほか、初回に限り最高5000円を所得税額から控除することができます。

電子申請をする際は、公的個人認証サービスを利用するための申請者の本人確認(電子証明書)が必要となります。電子証明書は住民基本台帳カードに格納して交付します。確定申告期間が近づくこと、交付窓口が大変込み合い、長時間お待たせすることとなります。

そこで、電子証明書をスムーズに交付するため、一定期間「予約発行」を実施します。お急ぎの皆さまには、ご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

●予約期間 1月4日(月)～3月15日(月)

●予約方法 各総合支所内市民福祉課窓口で申請してください。

●受付時間 午前9時～午後5時 ※時間外・土日・祝休日の受け付けはできません。

●電子証明書発行に必要なもの

- ・住民基本台帳カード(カードをお持ちでない場合は、別途交付申請が必要です)
- ・顔写真付の本人確認書類(運転免許証・パスポートなど)
- ・電子証明書発行手数料500円

●サービスを利用する場合は

▽インターネットが利用できる環境のパソコンにICカードリーダー(別売)を接続します。次に、利用者クライアントソフトを公的個人認証サービスポータルサイトからダウンロードします。

▽公的個人認証サービスの各種情報や、利用に必要なICカードリーダーなどの内容は、左記ポータルサイトをご覧ください。(URL: <http://www.jpki.go.jp>)

○電子証明書の予約発行のご相談

■市民税課

(TEL82・3131 FAX82・6622)

○e・Taxに関するご相談

岡松本税務署(TEL32・2790)

シリーズ4 都市計画マスタープラン策定に向けて

暮らしやすいまちづくりのための参考書

市は、「都市計画マスタープラン（以下、マスタープラン）」の来年度策定を目指し、都市計画策定委員会による検討を進めています。今回はマスタープランの構想や方針を実現の手段として検討している条例の内容について、2回に分けて紹介いたします。（詳しい内容は1月号で紹介いたします）

自主条例を制定します

土地利用に関する管理制度については、「自主条例を用いた統一制度を制定し運用する」ことを昨年9月に決定しました。現在、マスタープランに掲げる基本方針「既存市街・集落周辺への集約重視のまち」を実現するために条例の内容について検討を行っています。

条例の名称はこうなります

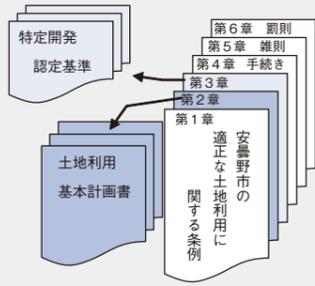
今まで穂高地域では、「まちづくり条例」という名称でした。しかし、「まちづくり」といっても範囲が広いことから、土地利用に関する条例であることを明確にするため市では、「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」（仮称）としています。

条例は全6章で構成されます

1章が「条例の目的・市や市民の責務・土地利用の基本理念」、2章が「土地利用基本計画」、3章が「特定開発計画」など全6章で検討しています。

●第1章のポイント

土地とは限られた資源であり、まちづくりの基盤となる土地は、私有財産であっても公共性が高いと言えます。そのことから、その利用にあたっては、公共の福祉を



優先させることとしています。これは、平成元年に法制化された「土地基本法」を準用しながら、市民や事業者の共通の認識としていく必要があります。

●第2章のポイント

条例の目的を達成するため「土地利用基本計画」を定め、計画的な土地利用実現のための基本区域、土地利用制限などを明記します。

●第3章のポイント

第2章の基本計画に明示のない開発事業のうち、目指すまちづくりの目標や土地利用の基本方針に反しない開発等については、これを認定し開発を許容していける仕組みを明記します。

■都市計画課計画係

TEL 72・3111 FAX 72・3356
〒917-0001 安曇野市 上水道課管理係 (TEL 72・3111 FAX 72・2510)

厳寒期 水道メータの凍結に注意

例年12月から3月にかけて、凍結による水道メータの破損が多く発生します。水道メータは市が使用者に貸与し、日常の管理は使用者が行うことになっています。水道の凍結による破損を防ぐため、次のような対策をお願いします。



- 凍結防止対策 水道メータボックス内にビニール袋に入れた発砲スチロール材を入れ保温対策をする、配管の露出部分には凍結防止帯や保温材を巻く、長期間使用しないときは水道の蛇口を開いたまま不凍栓を閉じるなどしてください。凍結防止対策を行わずに水道メータが破損した場合は、使用者の管理責任として弁償していただく場合がありますのでご注意ください。

■上水道課管理係 (TEL 72・3111 FAX 72・2510)

家庭教育 ひまわり講座講演会

社会教育課子ども支援係
TEL 62・4565 FAX 62・3525

今、この時期に大切なこと

～親離れ・子離れと言っけれど～

この時期、入園の申し込みはしたものの、2年保育か、3年保育かで、まだ不安に思われている人も多いのではないのでしょうか。シリーズ2回目となる今回は、働きに出るタイミングも含めて、親離れ・子離れの時期に大切なことを、子どもの心の発達の視点から学びます。

●日時 1月24日(日)
午前10時～正午

●場所 穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール

●講師 角田 春高教授(愛知学泉短期大学幼児教育学科・臨床心理士)

●参加費 無料

●その他 申し込みは不要です。また、インフルエンザ感染拡大防止のため、託児室の用意はありません。

コーデイネーション トレーニング体験会

社会教育課スポーツ振興係
TEL 62・4565 FAX 62・3525

運動神経を総合的に鍛え、その結果運動能力を高めることができると言われる「コーデイネーショントレーニング」

グ」が注目されています。子どものスポーツ指導から高齢者の健康づくりまで応用できる楽しいトレーニング方法です。スポーツ指導者、福祉関係者や、興味関心のある人ならどなたでも参加いただけます。体験しながら学習してみませんか。

●日時 1月16日(土)午後1時～5時

●場所 穂高会館

●講師 日本コーデイネーショントレーニング協会

●定員 70人(先着順)

●参加料 1人100円

●申し込み 1月8日(金)までに電話でお申し込みください。(土日祝日・12月29日～1月3日を除く)受付時間は、午前8時30分～午後5時まで。

男の料理教室

三郷公民館
TEL 77・2109 FAX 76・3077

男性がキッチンで包丁を握る機会が増えています。風味やうまみを逃がさない第4の調理法(真空調理)の教室を開催します。簡単にバランスの良い料理やお酒のつまみを作ってみませんか。

●日程 1月13日(水)・27日(水)・2月3日(水)・24日(水)の4日

●時間 午前10時～(3時間ほど)

●場所 三郷公民館 調理実習室

●講師 山野 彩子さん(食生活アドバイザー・シニアソムリエ)

おすすめの1冊

「ロアルド・ダール コレクション」

クエンティン・ブレイク・絵
灰鳥かり・訳



紹介する人

きたばやしかなこ
北林 伽奈子さん(小6・堀金烏川)

コレクションの内「へそまがり昔ばなし」は、みんながよく知っている昔話をおもしろく変えてあって、ちょっとこわい所もあるけど、おもしろいです。中には映画になった作品もあり、自分でコレクション全部をそろえたいと思っています。

図書館は、一度にたくさん借りられたり、市内の他の館にあるものも借りられるので、うれしいです。



- 定員 12人(先着順)
- 受講料 800円(200円×4回) 材料代として別途費用が掛かります。
- 持ち物 エプロン・タオル・三角巾・筆記用具
- 申し込み 1月4日(月)までに電話でお申し込みください。(土日祝日・12月29日～1月3日を除く)受付時間は、午前8時30分～午後5時まで。詳しくは、後日受講者にお知らせします。

歯磨きでお口の健康づくり



みて！じょうずにみがけるよ

歯 磨きが上手にできる二木輝龍くん（豊科5歳）のお母さんにお話を聞きました。

Q 始めたのはいつごろですか？
A 8カ月ごろからです。ちょうど私が歯科医院で歯磨きの仕方を

教えてもらった時だったので、子どもにもそのとおりしました。

Q どのように磨いたのですか？
A 歯と歯茎の境に歯ブラシをあて、ゆっくり、小さく動かしました。夜寝る前は毎日しました。

Q 自分で磨かせるようにするには？

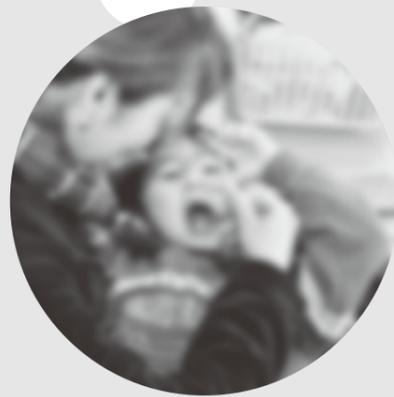
A お姉ちゃんと一緒に磨いているうちに、まねをしたり、教えてもらったりして、次第に自分で磨けるようになりました。お姉ちゃんの言うことはとてもよく聞くので助かっています。

Q むし歯予防のために気を付けていることはありますか？

A お菓子をダラダラ食べないように心がけています。また、食事の後の歯磨きは、奥歯も裏側も磨き残さないよう意識していることです。永久歯に生え変わっても虫歯にしないように、仕上げ磨きをしっかりしたいです。

仕上げは

おかあさん♪



歯科衛生士から一言

歯磨きは歯垢を落とすことが大切。輝龍くんの歯磨きは、始めに毛先をぴたりあてて小さく動かし、唇やおを避けて歯ブラシが奥まで届いています。また、磨く順序が決まっていますので、磨き忘れが少なく、歯こうを落とす歯磨きが上手にできていることに感心しました。

健康推進課

(TEL: 0726 FAX: 81・0703)

ぼくたち生まれ変わるかな？ 廃家電4品目の出し方

環境ナビ

隔月連載⑤ ごみ・資源物のゆくえ

家 電リサイクル法をご存じですか。家庭で不用となったエアコン、テレビ、冷蔵庫（冷凍庫）、洗濯機（衣類乾燥機）の4家電について、資源を有効活用することを目的に平成13年から施行された法律です。これら家電4品目を廃棄する場合には、家電リサイクル料金を支払う必要があります。今回は家電4品目を廃棄する手順を追ってみました。

まず、リサイクル券を手に入れる

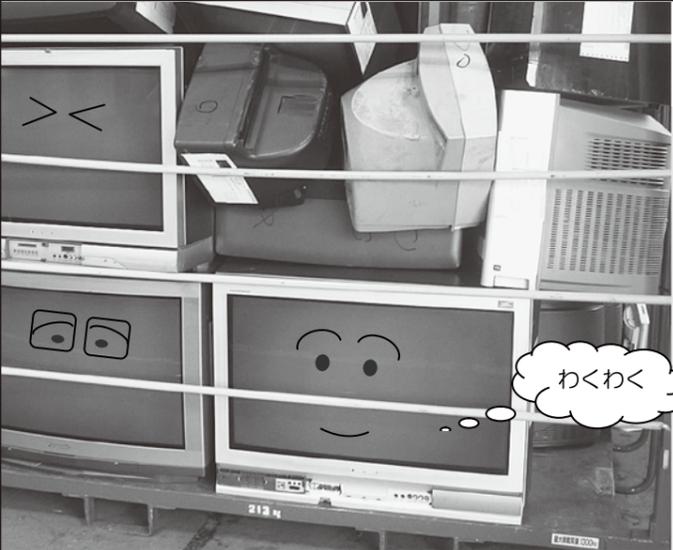
家電4品目を廃棄する際には家電リサイクル券が必要です。このリサイクル券は郵便局のほか、家電販売店や一部の廃棄物収集運搬許可業者で扱っています。リサイクル券の料金は、家電メーカーや製品の種類によって違うので、あらかじめ、廃家電のメーカー、サイズなどを確認してください。

次に、指定引き取り場所に持ち込む

リサイクル券と一緒に不要となった家電を指定引き取り場所に持ち込みます。最寄りの引き取り場所は、松本市内にある花村産業株式会社と日本通運株式会社の2カ所（左図）があります。10月1日からはメーカーに関係なく、どちらの指定引き取り場所に持ち込んでも良いことになりました。

もし、持ち込みできない場合は

指定引き取り場所まで運搬できない場合は、廃棄物収集運搬許可業者に運搬を依頼することもできます。また、新しく家電を買い替える際に、家電販売店に古い家電を引き取ってもらうこともできます。いずれの場合もリサイクル料金のほかに、指定引き取り場所まで運搬料金が掛かります。

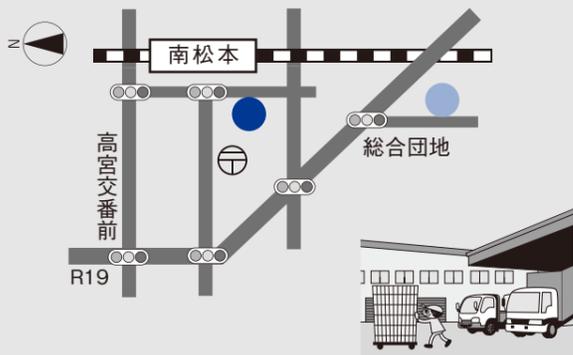


わくわく

指定引き取り場所に持ち込まれたテレビ。これらは、県外の再商品化施設に運ばれ、それぞれ部品ごとに分解されて資源になります。リサイクル料金は、再資源化に役立てられています。



写真は郵便局で手に入るリサイクル券。リサイクル料を支払い、貼付用を廃家電に貼り付けます。



- 花村産業株式会社 松本市市場 5-26 (TEL: 29・1288)
- 日本通運株式会社 松本市双葉 4-4 (TEL: 27・0836)



問各総合支所地域支援課生活環境係または環境課廃棄物処理対策担当 (TEL: 82・3131 FAX: 82・6622)

出典：経済産業省ホームページ「家電リサイクル」(http://www.meti.go.jp/policy/kaden_recycle/ekade00j.html)



今月の料理人
 小平 三枝さん
 (堀金鳥川)

夏の太陽を閉じ込めて
 あんなにあった野菜がこれっきり！
 冬場に食べられて喜ばれます。

夏野菜の干し漬け



- 材料
 ナス キュウリ ミョウガ ニンジン ショウガ各適量 塩2%
 かつお節 10g A [しょうゆ 30cc みりん大さじ1.5 砂糖小
 さじ1.5]
- 作り方
- ①：ナスとキュウリを長さ4cm幅5cmに切る。(太いキュウリの種は取り除く) ミョウガは縦に2~4等分に切る。ニンジンも縦の短冊に切る。ショウガは薄く切る。
 - ②：①の野菜を2%の塩でもみ1時間ていどおく。
 - ③：②の水気を絞ってザルに広げ、天日で1日干すと、うまみが出る。
 - ④：かつお節に熱湯60ccを注ぎ、だしをとり、Aと合わせ調味料を作る。
 - ⑤：ボールに③と④を入れ、よく混ぜ合わせれば完成。(冷凍庫で保存し、食べる分量だけ解凍する)

◎詳しい内容は各施設等へお問い合わせください。

安曇野高橋節郎記念美術館

TEL 81・3030 FAX 82・0551

池末みゆき・ライアーとおはなしの会

美術館には漆芸家・高橋節郎が螺鈿装飾を施した小型の
たてこ
竪琴・ライアーが所蔵されています。そこでライアー奏者・
池末みゆきさんをお迎えして、ミニコンサートと音楽に関
するおはなしの会を行います。繊細なライアーの音色をお
楽しみください。申し込み不要です。



- 日 時 1月16日(土)午後2時開演
- 会 場 美術館内メディアフォーラム
- 入場料 無料
(常設展の観覧は有料です)

豊科近代美術館

TEL 73・5638 FAX 73・6320

平成 22 年安曇野市中学高校美術部展

市内5つの中学・高校の美術部による合同作品展を行います。参加校は豊科北中学校、豊科南中学校、堀金中学校、三郷中学校、豊科高校の皆さんです。部活動で制作した作品と、当館で行ったワークショップの作品を展示します。

- 会 期 1月19日(火)～2月11日(木)
- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料 無料(常設展は有料となります)
- 休館日 月曜日

碌山公園研成ホール

TEL FAX 82・0769

《美術講座受講者募集》デッサン研究会

- 日 時 1月4日(月)～6日(水)
午前9時～午後5時
 - 内 容 人体裸婦デッサンの研究会
 - 受講料 8000円
(1日のみ3000円、2日以上8000円)
- ※講座に関する問い合わせ
二木福治さん TEL 73・3764

教育委員会・安曇野アートライン推進協議会共同企画
琵琶のしらべ 新春コンサート開催

- 心に響く琵琶の音色をお楽しみください。コンサートにあわせて「絵本美術館・森のおうち」の展示もご覧いただけます。
- 日 時 1月24日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演
 - 場 所 絵本美術館・森のおうち
 - 曲 目 平家物語より「俊寛」「敦盛」他
 - 定 員 70人(先着順)
 - 出 演 薩摩琵琶奏者 宮下 洸
 - 参加費 1000円(入館料・ワンドリンク込み)
 - 申し込み 12月25日(金)から受け付けします。「絵本美術館・森のおうち」(TEL 83・5670)へ電話でお申し込みください。受付時間は午前9時30分～午後5時までです。※休館日、毎週木曜日・12月28日(月)・1月4日(月)～10日(日)
- 園穂高交流学習センター「みらい」内文化課文化振興係 (TEL 81・3111 FAX 82・0966)

穂高交流学習センター「みらい」

TEL 81・3111 FAX 82・0966

市民「マイ・コレクション展」

市民の皆さんが収集したコレクションや、思い出の品など、ご自慢のコレクションを、交流ギャラリーでご紹介します。入場無料です。

- 会 期 第I期 1月5日(火)～26日(火)
第II期 1月29日(金)～2月23日(火)
- 開館時間 午前9時～午後9時30分(木曜休館)
- 展示内容 江戸時代の世界地図、安政4年の暦、明治初期の切手など

ランチタイムロビーコンサート

市内在住の音楽家によるミニコンサートをランチタイムに開催します。お気軽にご来館ください。申し込み不要、入場無料です。

- 日 時 1月9日(土)～11日(月) 正午～午後1時
- 会 場 「みらい」内エントランスホール
- 出 演 9日(土)白井則孔(シンガーソングオルゴール)
- ・10日(日)中嶋翠仙・降旗翠甫(琴)、手塚文乃(フルート)
- ・11日(月)アリーナ(琴と尺八)

貞享義民記念館

TEL 77・7550 FAX 77・7551

《企画展》第2回 榎フォトクラブ写真展

「安曇野の四季」をテーマに、会員18人による地域の行事や四季の風物などの作品約30点を展示します。

- 期 間 1月11日(月)～2月6日(土)
- 会 場 記念館内企画展示室
- 入館料 無料(常設展は有料)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

豊科郷土博物館

TEL FAX 72・5672

第35回 友の会押絵展

新年にふさわしい、華やかな羽子板や浮世絵などを再現した美しい押絵を展示します。

- 会 期 1月10日(日)～24日(日)
- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 入館料 大人100円、小中学生50円
(団体料金あり)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)



白井吉見文学館

TEL 72・5796

「友の会」講演会開催

- 日 時 1月17日(日) 午後1時30分～
 - 場 所 堀金総合体育館サブアリーナ
 - 演 題 「蛙のうた」を読んで
 - 講 師 井出孫六さん(1931年佐久市生まれ、小説家・ルポライター・教師・編集者を経て文壇へ。日本文芸家協会理事、日本ペンクラブ会員)
- 「蛙のうた」は、白井吉見が自らの編集者時代を回想した作品です。講師の井出さんは、吉見とよく似た経歴をお持ちです。また、吉見の講演記録集「自分をつくる」のあとがきを担当しています。大勢の皆さんのお出掛けをお待ちしています。
- 申込不要・入場無料

安曇野ブランドニュース

第24回

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト(場々洋介リーダー)では11月7日、安曇野の原風景でもある屋敷林の保全活動を進めるために、「屋敷林サミット in 安曇野」を堀金総合体育館で開催しました。

サミットでは、富山県「砺波市立散村地域研究所」の新藤正夫所長、東京都「武蔵野市都市整備部緑化環境センター」の萩野芳明所長、安曇野市の「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」の場々洋介リーダーがそれぞれの活動を報告し、パネルディスカッションを行いました。

当日の参加者は約200人で、各地域の屋敷林保全や緑化促進などの取り組みについて、耳を傾けていました。



屋敷林サミット
in 安曇野開催!

全国ぬかぐいどサミット
in 安曇野開催!

もみ殻を燃料としてご飯を炊くかまどを通して、「お米」や「農業」の大切さ、また「命」の大切さを伝えるため、ぬかぐいど隊(小口輔貴子リーダー)主催による「全国ぬかぐいどサミット in 安曇野」を11月23日、安曇野市イスクラサンモリッツで開催しました。

当日は、ぬかぐいど隊と同様の活動を行っている「新潟県南魚沼市グリーンツーリズム推進協議会」と安曇野市ぬかぐいど隊の活動報告、ぬかぐいど隊の創始者の孫にあたる埼玉県さいたま市の料理店「二木屋」の主人、小林玖仁男さんからぬかぐいど隊の歴史



南魚沼市の「ぬか釜」実演

《安曇野ブランドデザイン会議》
応募団募集中!

安曇野ブランドデザイン会議は、安曇野ブランドの構築を図るため、平成19年8月に発足しました。現在5つの部会と、14のプロジェクトが、市との協働により進められています。

そこで、今後さらに多くの皆さんと活動するため、ブランド会議の会員と一緒に植栽、草取りなど作業にご参加いただく皆さん(応援団)を募集しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは下記事務局までご連絡ください。

児童館の予定

育児相談は右頁参照



… 乳幼児対象



… 参加費

新型インフルエンザ感染拡大防止の取り組み

新型インフルエンザの感染拡大を防止するため、児童館の行事を中止・延期する場合があります。行事にご参加の際は、各児童館にご確認の上お出掛けください。

年末年始の休館について

12/29(火)～1/3(日)は児童館はお休みします。

★豊科中央児童館

TEL・FAX72-0122

■休館日／日曜・祝日

- 百人一首・カルタの日 9日(土) 14:00～15:00
食の伝統文化子ども教室～すいとん作り～ 16日(土) 13:30～16:00
(豊科農村女性学習会の皆さんによる) 要予約 100円 ※30組
- PCの日 23日(土) 10:00～12:00
- クロック大会 要予約 23日(土) 14:00～15:00
- 読み聞かせ～絵本・紙芝居～ 18・25日(月) 11:00～11:30
(読み手：ボランティアさん)

いっしょにあそぼう

- たこ作り 15日(金) 11:00～11:30
- リズム遊び 22日(金) 11:00～11:30
- カルタ遊び 29日(金) 11:00～11:30

★三郷児童館

TEL76-0185 FAX76-0186

■休館日／日曜・祝日

- 木工工作 15日(金) 10:30～11:30
要予約 参加費
- ちびっ子クッキング～おまんじゅう～ 20日(水) 10:00～12:00
要予約 参加費 ※20組
- 子育てひろば 27日(水) 10:00～12:00
- チャレンジ小学生～かるた大会～ 30日(土) 14:00～15:00

おはなしいっぱい

- よみかきせ 8日(金)・28日(木) 11:00～11:30
- パネルシアター 22日(金) 11:00～11:30

みんななかよし 要予約

- さくらんぼくらぶ～粘土あそび～ 14日(木) 10:30～11:00
- いちごくらぶ～粘土あそび～ 21日(木) 10:30～11:00
- りんごくらぶ～粘土あそび～ 28日(木) 10:30～11:00

★穂高北部児童館

TEL・FAX83-5494

■休館日／土曜・日曜・祝日

- 季節の行事⑩～お正月遊び～ 15日(金) 10:30～11:30
要予約 100円 ※乳幼児親子20組
- 運動あそび(柳澤友希先生) 20日(水) 10:30～11:30
要予約 ※0～1歳半位までの乳幼児親子20組
- 身体測定日 22日(金) 9:30～12:00
- おはなしどりいむ 第2・4火曜日 11:20～11:40
(読み聞かせボランティア)
- わらべ唄・手遊び(内山房子先生) 毎週月曜日 11:10～11:30

★南穂高児童館「にこにこランド」

TEL71-5150 FAX71-5152

■休館日／日曜・祝日

- ママキッズピクス 14日(木) 10:15～11:00
- リズム遊び 22日(金) 10:30～
- よちよちらんど～豆まき～ 29日(金) 10:30～
- 子どもサークル～バレンタインケーキ作り～ 30日(土) 10:30～
100円
- おはなしムーン 毎週水曜日 11:00～
(読み聞かせボランティア)

★穂高西部児童館

TEL・FAX82-2527

■休館日／日曜・祝日

- 身体測定日 5日(火) 10:00～12:00
- 季節の行事⑩～お正月遊び～ 9日(土) 10:00～11:00
要予約 100円 ※乳幼児親子20組
- 子育て勉強会～子ども救急法～ 19日(火) 10:00～11:00
要予約 ※乳幼児親子20組
- 寒さなんかふきとばせ～お餅つき～ 23日(土) 10:00～11:30
要予約 150円 ※20組
- おはなしどりいむ 第2・4月曜日 11:20～11:40
(読み聞かせボランティア)

★穂高中央児童館

TEL84-0762 FAX82-9621

■休館日／日曜・祝日

- キッズリユース広場 25日(月) 10:30～11:00
- 身体測定日 28日(木) 10:00～12:00
- 工作の日 30日(土) 10:00～11:00
- おはなしどりいむ 第1・2・3水曜日 11:00～11:20
(読み聞かせボランティア)

★明科児童館

TEL62-2482 FAX62-1124

■休館日／日曜・祝日

- 児童館正月お楽しみ会 5日(火) 13:00～15:30
- ひまわりの日 ※参加自由
- 頭脳ゲーム 13日(水) 15:45～16:30
- お話玉手箱 20日(水) 15:45～16:30
- チャレラン大会(連続なわとび・ホッピング) 27日(水) 15:45～16:30

ひまわりっ子クラブ ※登録児対象

- 2・3歳 …………… 13・20・27日(水) 10:00～12:00
- 1歳 …………… 14・21・28日(木) 10:00～12:00
- 0歳 …………… 15・22・29日(金) 10:00～12:00

★高家児童館

TEL・FAX72-5685

■休館日／日曜・祝日

- ママキッズピクス 21日(木) 10:15～11:00
- 食の伝統文化子ども教室～まゆ玉たんご～ 22日(金) 10:30～11:30
要予約 親子で150円
- おはなしムーン 毎週火曜日 10:30～
(読み聞かせボランティア)

各種相談

場…場所

問…問い合わせ

時…時間

教育に関する相談

問 学校教育課 (TEL62-0133・FAX62-5721)

- 教育全般 要予約 9:00～16:00
毎週月～金曜日 ※1/1～3日、11日は除く
■教育相談室(豊科公民館内) (TEL72-2238)
- 親の会 13:00～15:00
19日(火) ■教育相談室(豊科公民館内) (TEL72-2238)
- いじめ相談ホットライン 8:30～17:15
毎週月～金曜日 ※1/1～3日、11日は除く
■明科総合支所北庁舎内 学校教育指導員室 (TEL62-3521・FAX62-5721)
- 中間教室ねむの木 親の会 13:00～15:00
20日(水) ■問 中間教室ねむの木(新田神社南奥) (TEL73-1624)

子育てに関する相談

- 母乳・育児相談 ※母乳相談は 要予約 9:30～11:00
5日(火)・19日(火) ■■明科保健センター(TEL81-2251・FAX81-2943)
7日(木)・21日(木) ■■穂高保健センター(TEL81-0711・FAX81-0703)
12日(火)・26日(火) ■■三郷保健センター(TEL77-9111・FAX77-9113)
13日(水)・27日(水) ■■豊科保健センター(TEL72-9970・FAX72-9044)
14日(木)・28日(木) ■■堀金保健センター(TEL73-5770・FAX73-5775)
※保健師・助産師・管理栄養士・栄養士・歯科衛生士が相談に応じます。

児童館の育児相談 ※就園前親子対象

- 14日(木) ■ 11:15～
■問 南穂高児童館(TEL71-5150・FAX71-5152)
- 19日(火) ■ 10:00～12:00
■問 三郷児童館(TEL76-0185・FAX76-0186)
- 8日(金) ■ 10:30～12:00
■問 豊科中央児童館(TEL・FAX72-0122)
- 19日(火) ■ 11:00～12:00
■問 高家児童館(TEL・FAX72-5685)

子ども・母子家庭・女性の相談

- 平日 ■ 8:30～17:00 要予約
■問 児童保育課児童係(TEL81-0727・FAX81-0703)

消費生活相談 ■ 8:30～17:15

- 平日 ■ 市民環境部環境課(穂高総合支所1階)
問 市民環境部環境課(TEL82-3131・FAX82-6622) ※電話相談も可。

人権相談所 ■ 10:00～15:00

問 法務局松本支局(TEL32-2571・FAX32-2572)

- 18日(月) ■ 堀金総合支所

1月の休日当番医

(変更になる場合があります。ご利用前に医療情報案内(☎0120-890-423)でご確認ください。)

1日(金・祝)	2日(土・年始)	3日(日)	10日(日)	11日(月・祝)	17日(日)	24日(日)	31日(日)
穂高ハートクリニック 50-6731 [穂高]	穂高病院 82-2474 [穂高]	伊藤医院 62-2051 [明科]	追分クリニック 82-2129 [穂高]	古川医院 82-4385 [穂高]	やざき診療所 62-2360 [明科]	塔の原内川医院 81-2121 [明科]	清沢医院 82-7600 [穂高]
石田医院 72-2766 [豊科]	中田医院 82-2339 [穂高]	須澤クリニック 82-2993 [穂高]	信濃内科循環器科医院 82-7722 [穂高]	柏原クリニック 82-7222 [穂高]	高橋医院 82-2561 [穂高]	神谷小児科医院 72-5162 [豊科]	せき泌尿器科クリニック 82-0666 [穂高]
和田医院 72-2047 [堀金]	安曇野形成皮膚クリニック 71-2345 [豊科]	丸山内科クリニック 72-6188 [豊科]	土屋クリニック 71-1811 [豊科]	たかはしクリニック 77-7880 [三郷]	赤津整形外科クリニック 76-3133 [三郷]	米倉医院 72-2354 [堀金]	木暮医院 77-2119 [三郷]
大谷歯科医院 72-8858 [豊科]	松村歯科医院 62-2048 [明科]	丸山整形外科医院矯正歯科 72-7000 [豊科]	ヒカリ歯科医院 82-8171 [穂高]	布山歯科医院 77-6388 [三郷]	山本歯科クリニック 84-0004 [穂高]	中島歯科医院 73-5701 [豊科]	田野歯科医院 82-7537 [穂高]

心配ごと相談・行政相談 (*は行政相談を同時開催)

- 12日(火)・*25日(月) ■ 13:00～16:00
■ 堀金老人福祉センター(TEL73-5288・FAX73-5775)
- 12日(火)・*26日(火) ■ 13:00～16:00
■ 穂高地域福祉センター(TEL82-2940・FAX82-9621)
- 13日(水)・*27日(水) ■ 13:00～16:00
■ 豊科ささえあいセンター「にじ」(TEL72-3013・FAX72-5422)
- 14日(木)・*28日(木) ■ 13:00～16:00
■ 三郷福祉センター(TEL77-8080・FAX77-8081)
- 15日(金)・*29日(金) ■ 13:00～16:00
■ 明科総合福祉センター(TEL62-2429・FAX62-5025)
- 問 心配ごと相談…上記へ
問 行政相談…総務部総務課(TEL71-2000・FAX71-5000)

弁護士会による無料法律相談 要予約

- 14日(木) ■ 13:30～16:30 ※相談時間は1人20分
■ 豊科公民館小会議室
要予約・問 総務部総務課庶務係(TEL71-2000・FAX71-5000)
※予約受付…1月7日(木)9:00～12:00(受付は電話のみ)
※相談者(定員8人)は抽選で決定(先着順ではありません)

こころの相談

- 精神保健相談 要予約 ■ 14:00～

- 毎週月・木曜日(第5を除く) ■ 松本保健福祉事務所
7日(木) ■ 県安曇野庁舎1階相談室
問 松本保健福祉事務所(TEL40-1938・FAX47-9293)

- 依存症相談 要予約 ■ 14:00～

- 8日(金) ■ 問 松本保健福祉事務所(TEL40-1938・FAX47-9293)

- 自殺関連相談 こころの相談統一ダイヤル ■ 9:30～16:00

- 平日 ■ 問 県精神保健福祉センター(専用TEL0570-064556)

介護相談 ■ 8:30～17:00

- 平日 ■ 問 市地域包括支援センター(穂高健康支援センター内)
(TEL81-0760・FAX81-0703)

- 平日 ■ 問 東部地域包括支援センター(豊科保健センター内)
(TEL72-9986・FAX72-9044)

結婚相談 ■ 13:00～16:00

- 10日(日) ■■ 堀金老人福祉センター(TEL73-5288・FAX73-5773)
- 17日(日) ■■ 豊科老人福祉センター(TEL73-7143・FAX73-7147)
- 24日(日) ■■ 明科総合福祉センター(TEL62-2429・FAX62-5025)



伝統をつないで45回

11/1 堀金1周駅伝大会

第5回安曇野市堀金1周駅伝大会（堀金公民館主催）が11月1日に開かれました。この駅伝は、旧堀金村時代から通算すると45回目となる伝統の大会で、小学生から60代まで130人のランナーが力走しました。コースは10区間17.3^{km}。スタートの号砲とともに第一走者が勢いよく駆けだすと、一斉に大きな声援が送られました。優勝は田尻分館チーム。アンカーを走った永井瑠海さん（堀金中1）は、「いい走りです優勝に貢献できた」と笑顔でした。



ワークショップの進め方を学ぶ

10/26 男女共同参画ステップアップ講座

男女共同参画講座（市・男女共同参画連絡協議会主催）が10月26日、県安曇野庁舎で開かれました。最終回となる今回は、推進にかかわる団体のメンバー31人が参加。上田市の「女と男（ひととひと）上田市民の会」を招き、ワークショップ（研究会）の進め方などを学びました。参加者の女性（70代）は、「写真を使ったワークショップは初めての体験。口頭でテーマを設けるより話しやすい」と感心していました。市と同協議会では、今後も男女共同参画を地域へ広めるための環境づくりに取り組む予定です。



もっと知りたい 消防団

11/15 消防フェスティバル

安曇野市消防団（丸山一雄団長）は「秋の火災予防週間」の最終日となる11月15日、豊科サティ東側駐車場で、消防フェスタを開催しました。このイベントは、消防団の日ごろの活動や必要性を多くの人に知ってもらおうと、今年初めて開かれました。

会場には400人が訪れ、ポンプを使った消火体験や煙道体験、消防団の活動を記録したパネルや消防車の展示、音楽喇叭隊の演奏など、親しみやすく工夫された企画を楽しんでいました。

消防車が好きな孫と一緒に訪れた畠山千寛さん（60・穂高有明）は、「日ごろ接する機会が少ない消防団の活動の一部を見ることができました。ご苦労も多いと思うが、地域の安心のためにがんばってほしい」と期待を寄せていました。

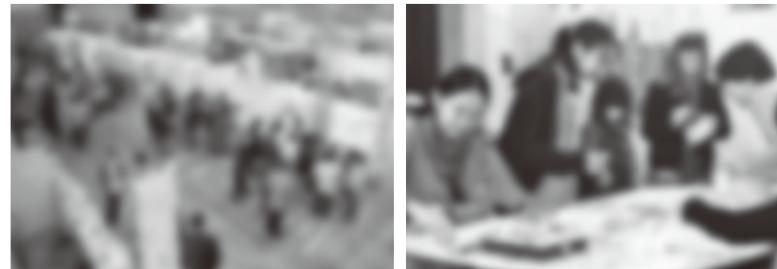
みんなでエコを楽しもう

11/7・8 あづみ野環境フェア

あづみ野環境フェア2009（同実行委員会主催）が11月7日と8日、堀金総合体育館で開かれました。このイベントは、市民一人ひとりが環境について考え、行動するきっかけになることを願って開かれるもので、市と市民の皆さんが中心となって企画、運営などを手掛けました。

昨年に続き2回目となる今回は、市内外から65の個人と団体が参加。活動成果のステージ発表やパネル展示をはじめ、環境にやさしい工作体験などの催しが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

11月7日に新聞紙を使ってペーパーバック作りに挑戦した岡本洋子さん（堀金烏川）は、「身近にあるものを活用することでエコにつながるのことが分かりました。家に帰って作ってみたい。少しずつ環境への興味がわいてきた」と意欲を話してくれました。



縄文時代の謎を追え！

11/26 塩田若宮遺跡 出土品の整理進む

明科北保育園の建設地で今年6月から7月にかけて塩田若宮遺跡の発掘が行われ、現在その出土品の整理が進んでいます。今回の発掘現場からは、縄文時代後期のものと見られる住居跡や土器・石器などが見つかりました。明科地域には同じ時代の遺跡として、数百体の人骨が発掘された北村遺跡があります。市教育委員会の担当者は「2つの地域が縄文後期にどんな関連があったのかを知るうえでも今回の調査内容は重要」と話しています。なお、調査の結果は、来年度中に報告書としてまとめられる予定です。



清流の里でお菜洗い

11/26 野沢菜漬けの準備始まる

安曇野も冬を向かえ、市内各所でお菜洗いの光景が見られるようになりました。11月26日、明科の自然体験交流センター「せせらぎ」前の小川で作業していた滝沢正幸さん（明科中川手）は、「毎年ここでお菜を洗う。流れがあり家で洗うより楽だし、何より水がきれいもいい」と、ご夫婦でお菜洗いに精を出していました。11月中旬から漬物用野沢菜の販売を始めた“旬の味ほりがね物産センター”によると、「今年は気候が暖かいので野沢菜を漬ける時期が例年より遅くなっているようだ」とのこと。清流の里ならではの光景は12月まで続きそうです。

明かりの数だけ

～県立こども病院～



安曇野 彩紀行

其の五十一

今月の色 ライムライト

Limelight
淡く黄色い光の色
昔のスポットライト



12月上旬の午後6時。

しんしんと冷え込む夜空の元、

県立こども病院の部屋の明かり

が、あたたかく瞬いていました。

窓明かりの数だけある家族の

営み。職員の皆さんの日々。年

末年始もこの明かりは灯り、人

知れぬ物語を紡いでいます。

2010年がどうか、光あふ

れる年でありますように。

編集後記

◆今月号は、昨年末に引き続き、地域づくりをテーマとした特集を掲載しました。広報担当が「まちづくり推進課」にあるのは、全国でも珍しいようです。取材にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

◆「もっくくつ寝るとお正月」編集作業が終わったので年賀状を書く事にしました。おや・意外や意外、枚数がかかり足りない事に気が付きました。隣に目をやると、「○○ちゃんにも出さなきゃ」と、わが子。急がねば。

◆取材で訪れた明科歴史民俗資料館。大逆事件の資料室があることを今回初めて知りました。地域の資料館では、普段何気なく暮らしている地域のさまざまな歴史を知ることが出来ます。もっと足を運んでみたいと思います。

◆新型インフルエンザには、患者も医療現場も行政もかなり振り回された1年になりました。いつか来るかもしれない強毒性のものに備え、今回の経験を生かさなくてはなりません。

2009.12.1現在 ()内は対前月比
人口 —— 99,241人(-50)
男 —— 48,094人(-23)
女 —— 51,147人(-27)
世帯 —— 36,612世帯(+37)

広報 あづみの

発行日 平成21年12月17日
編集・発行 長野県安曇野市役所企画財政部
まちづくり推進課 広報広聴係
TEL 0263-71-2000 FAX 71-5000
URL <http://www.city.azumino.nagano.jp>
E-mail info@city.azumino.nagano.jp
印刷 (有)安曇印刷 印刷経費1部29円

次回発行…1月20日(水)

古紙を配合した再生紙、
環境に優しい大豆油インクを使用しています。



本 庁 舎	〒399-8205	長野県安曇野市豊科4932番地46	TEL 0263-71-2000	FAX 0263-71-5000
豊科総合支所	〒399-8205	長野県安曇野市豊科4340番地	TEL 0263-72-3111	FAX 0263-72-8340
穂高総合支所	〒399-8303	長野県安曇野市穂高6658番地	TEL 0263-82-3131	FAX 0263-82-6622
三郷総合支所	〒399-8101	長野県安曇野市三郷明盛4810番地1	TEL 0263-77-3111	FAX 0263-77-6060
堀金総合支所	〒399-8211	長野県安曇野市堀金烏川2750番地1	TEL 0263-72-3106	FAX 0263-72-4900
明科総合支所	〒399-7102	長野県安曇野市明科中川手6824番地1	TEL 0263-62-3001	FAX 0263-62-4747